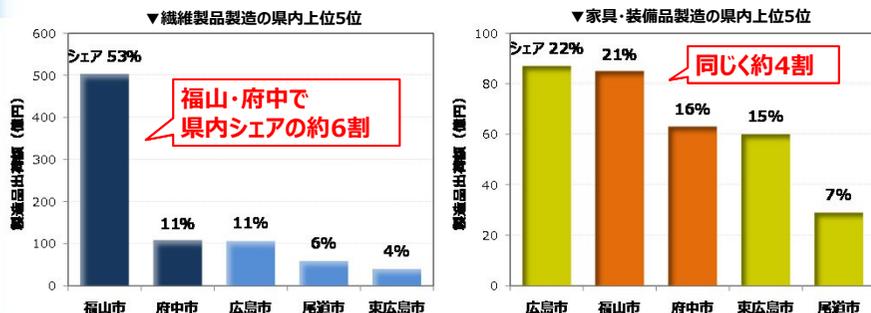


「備後のものづくり」を支える産業道路！

府中市には、「備後のものづくり」を支える主要企業が進出

府中市及びこの周辺の地方は、古くから織物がさかんで、現在でも全国を代表する一大繊維産業地域です。また、府中家具に知られるように高級家具の加工・生産地であるとともに、芦田川の豊かな水源を確保し、精密機器や非鉄金属製造などの工業団地が多数立地する「備後のものづくり」の生産拠点となっています。



出典)「H25年度 広島県工業統計」(付表5 産業中分類別製造品出荷額等の上位5位の市町)より。

■府中市のオンリーワン・ナンバーワン企業の例

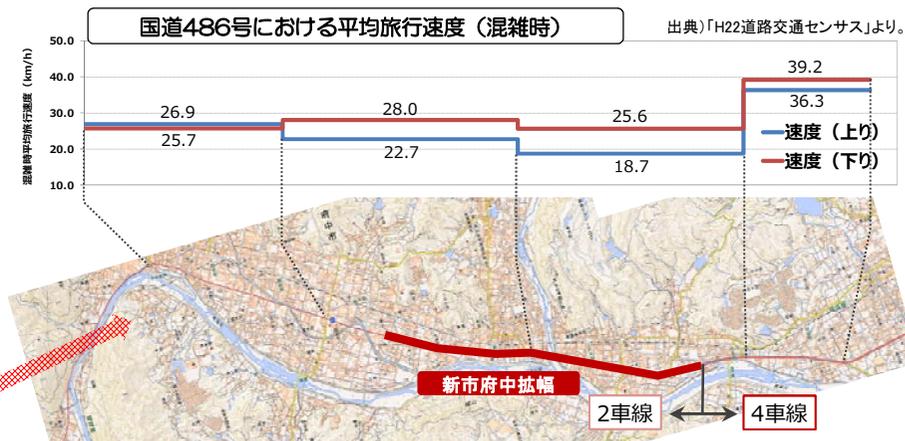
(株)北川鉄工所(工作機械)、リョービ(株)(ダイカスト製品)、ヒロボー(株)(ラジコンヘリ)、北川精機(株)(プレス機)など



新市府中拡幅の推進により、走行性・安全性の大幅向上が期待！

府中市の産業物流を支える国道486号には、日当たり2,000台以上の大型車が走行しています。ただし、ほとんどの区間が2車線であり、沿線開発も進んでいることから、朝夕には慢性的な交通渋滞が発生しています。

新市府中拡幅事業の整備により、府中市を核とした「備後のまちづくり」の基盤がより強固なものになるとともに、沿線住民も含め、道路利用者の走行性・安全性の大幅な向上が期待されます。



府中南北線の整備により、松永港からのアクセスが向上！

府中南北線は、府中市の中心部を南北軸を担う、骨格路線です。現在は1車線であり、芦田川を渡河する扇橋では、大型車同士の離合も困難ですが、府中南北道路の整備により、府中松永線の機能強化が図られるとともに、木材港でもある松永港や、福山西ICとのアクセス向上により、地域産業への支援が期待されます。

